



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月12日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <https://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長 (氏名) 木下 敦視

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	157,405	1.4	5,232	42.9	5,484	42.0	3,740	46.3
2019年3月期第3四半期	159,693	9.0	3,660	8.7	3,862	10.6	2,556	13.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,355百万円 (52.9%) 2019年3月期第3四半期 2,195百万円 (30.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	142.03	
2019年3月期第3四半期	97.07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	91,020	61,481	67.4
2019年3月期	80,915	58,968	72.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 61,385百万円 2019年3月期 58,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		15.00	30.00
2020年3月期		17.00			
2020年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	203,000	2.6	5,700	15.2	5,800	13.9	4,000	18.0	151.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	28,908,581 株	2019年3月期	28,908,581 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,575,877 株	2019年3月期	2,575,791 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	26,332,712 株	2019年3月期3Q	26,332,930 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(会計方針の変更)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、輸出や生産には弱さが見られました。一方、先行きにつきましては、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、消費税増税による国内経済への影響など、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業においては、営業展開の強化と国内外の生産拠点活用により、貴金属原料の確保、化成品等の製商品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組んでおります。また、食品関連事業においては、顧客ニーズを捉えた商品の開拓と提供に鋭意取り組み、国内はもとより、海外展開の拡大も含めた積極的な営業活動を推進し、販売量の拡大に努めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高157,405百万円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益5,232百万円（前年同四半期比42.9%増）、経常利益5,484百万円（前年同四半期比42.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,740百万円（前年同四半期比46.3%増）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界は、電子部品・デバイス分野の生産に回復の兆しは見られたものの、米中貿易摩擦の影響などから依然として厳しい環境となりました。このような状況の中で当社グループの貴金属関連事業では、貴金属リサイクルの取扱量及び産業廃棄物処理受託の取扱量は概ね横這いで推移しましたが、貴金属地金の買取り数量縮小により貴金属製品の販売量は減少し、販売価格は上昇したものの全体としての売上高は前年同四半期に比べ減少しました。一方で、貴金属相場の高騰に伴う販売価格の上昇や原価低減などにより営業利益は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は93,593百万円（前年同四半期比7.4%減）、営業利益は3,890百万円（前年同四半期比71.2%増）となりました。

食品関連事業

当事業の主力顧客である食品製造業界は、加工食品需要の高まりなどを背景に生産活動は総じて堅調に推移しました。このような状況の中で当社グループの食品関連事業では、水産品、畜産品及び農産品の販売量が増加し販売価格の上昇もあり、売上高は前年同四半期に比べ増加しましたが、仕入原価の上昇や運送費及び保管料の増加などにより営業利益は前年同四半期に比べ減少しました。

これらの結果、当該事業の売上高は63,867百万円（前年同四半期比8.8%増）、営業利益は1,341百万円（前年同四半期比3.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ10,104百万円増加し、91,020百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金並びにたな卸資産の増加と、貴金属関連事業の工場設備の新設に伴う有形固定資産の増加によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7,591百万円増加し、29,538百万円となりました。これは主として運転資金に備えた短期借入金並びに貴金属関連事業の工場設備の新設に備えた長期借入金の増加によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2,513百万円増加し、61,481百万円となりました。これは主として期末及び中間配当金の支払い842百万円を上回る利益剰余金の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ920百万円増加し8,736百万円となりました。

（営業活動のキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動により減少した資金は2,460百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益による資金の増加と、売上債権の増加並びにたな卸資産の増加による資金の減少の差引によるものです。なお、前年同四半期の4,704百万円の資金の増加に比べ7,164百万円減少しました。

（投資活動のキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は2,029百万円となりました。これは主として工場設備の新設及び更新等の有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の880百万円の支出に比べ1,148百万円の支出増加となりました。

（財務活動のキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動により増加した資金は5,385百万円となりました。これは主として期末及び中間配当金の支払いを上回る借入金の増加によるものです。なお、前年同四半期の3,319百万円の資金の減少に比べ8,704百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、前回発表時（2019年11月6日）の業績見通しを変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,816	8,736
受取手形及び売掛金	20,522	26,609
商品及び製品	16,702	18,425
仕掛品	542	581
原材料及び貯蔵品	6,942	7,288
その他	4,440	4,186
貸倒引当金	△4	△9
流動資産合計	56,961	65,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,177	9,474
減価償却累計額	△5,131	△5,353
建物及び構築物 (純額)	4,045	4,121
機械装置及び運搬具	8,800	9,094
減価償却累計額	△7,158	△7,503
機械装置及び運搬具 (純額)	1,642	1,590
土地	9,036	8,916
リース資産	1,181	1,712
減価償却累計額	△449	△736
リース資産 (純額)	731	976
建設仮勘定	1,303	2,401
その他	1,302	1,377
減価償却累計額	△965	△1,059
その他 (純額)	337	318
有形固定資産合計	17,098	18,325
無形固定資産		
その他	642	602
無形固定資産合計	642	602
投資その他の資産		
投資有価証券	4,512	4,588
繰延税金資産	115	159
その他	1,601	1,545
貸倒引当金	△16	△19
投資その他の資産合計	6,212	6,274
固定資産合計	23,953	25,202
資産合計	80,915	91,020

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,170	8,579
短期借入金	3,081	5,179
1年内返済予定の長期借入金	755	1,286
リース債務	271	343
未払法人税等	914	688
賞与引当金	818	478
その他	3,803	4,843
流動負債合計	17,814	21,400
固定負債		
長期借入金	2,480	6,357
リース債務	524	680
役員退職慰労引当金	625	659
執行役員退職慰労引当金	28	10
退職給付に係る負債	185	188
繰延税金負債	220	224
その他	68	17
固定負債合計	4,132	8,138
負債合計	21,946	29,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	52,865	55,762
自己株式	△3,010	△3,010
株主資本合計	57,422	60,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	585	551
繰延ヘッジ損益	41	△258
為替換算調整勘定	855	776
退職給付に係る調整累計額	△15	△4
その他の包括利益累計額合計	1,466	1,065
非支配株主持分	79	95
純資産合計	58,968	61,481
負債純資産合計	80,915	91,020

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	159,693	157,405
売上原価	144,902	140,397
売上総利益	14,790	17,008
販売費及び一般管理費	11,130	11,776
営業利益	3,660	5,232
営業外収益		
受取利息	6	12
受取配当金	24	25
投資有価証券売却益	13	27
持分法による投資利益	198	143
仕入割引	9	8
為替差益	-	17
その他	48	105
営業外収益合計	300	341
営業外費用		
支払利息	41	54
為替差損	29	-
その他	27	34
営業外費用合計	98	89
経常利益	3,862	5,484
特別損失		
減損損失	77	115
特別損失合計	77	115
税金等調整前四半期純利益	3,785	5,369
法人税、住民税及び事業税	1,049	1,512
法人税等調整額	160	103
法人税等合計	1,209	1,615
四半期純利益	2,575	3,753
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,556	3,740

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,575	3,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△100	△33
繰延ヘッジ損益	△244	△299
為替換算調整勘定	△26	△60
退職給付に係る調整額	10	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	△16
その他の包括利益合計	△380	△397
四半期包括利益	2,195	3,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,175	3,338
非支配株主に係る四半期包括利益	19	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,785	5,369
減価償却費	995	1,160
減損損失	77	115
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△46	8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△349	△339
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	35	14
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△21	△4
執行役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	△16
受取利息及び受取配当金	△30	△37
支払利息	41	54
持分法による投資損益 (△は益)	△198	△143
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,684	△6,065
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,640	△2,105
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,069	387
その他	1,163	685
小計	6,481	△918
利息及び配当金の受取額	112	47
利息の支払額	△40	△53
法人税等の支払額	△1,847	△1,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,704	△2,460
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△864	△1,997
有形固定資産の売却による収入	1	2
無形固定資産の取得による支出	△32	△90
投資有価証券の取得による支出	△9	△10
投資有価証券の売却による収入	22	30
その他	1	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△880	△2,029
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,579	2,105
長期借入れによる収入	3,000	5,000
長期借入金の返済による支出	△796	△591
配当金の支払額	△763	△842
その他	△179	△285
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,319	5,385
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	531	920
現金及び現金同等物の期首残高	7,571	7,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,103	8,736

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が309百万円増加し、流動負債の「リース債務」が57百万円及び固定負債の「リース債務」が262百万円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	101,069	58,623	159,693	—	159,693
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	66	66	△66	—
計	101,069	58,690	159,760	△66	159,693
セグメント利益	2,272	1,387	3,660	—	3,660

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	93,593	63,812	157,405	—	157,405
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	55	55	△55	—
計	93,593	63,867	157,460	△55	157,405
セグメント利益	3,890	1,341	5,232	—	5,232

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。